

## 平成 29 年度鉄筋組立技能検定実技試験

1 級 154 人、2 級 14 人、3 級 11 人が受検

平成 29 年度の鉄筋組立技能検定実技試験が 2 月 10 日から 12 日までの 3 日間、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校で行われ、1 級 154 人、2 級 14 人、3 級 11 人の合わせて 179 人が受検し晴れの合格を目指しました。

この検定試験は組合が大阪府職業能力開発協会の委嘱を受けて実施しているもので、実技試験の課題は曲げ加工された鉄筋を用いて基礎、柱・梁の取合い部の組立を行います。試験時間は標準時間が 1 級 1 時間 40 分（延長 30 分）、2 級 1 時間 20 分（同 20 分）、3 級 1 時間 30 分（同 30 分）で、標準時間を超えた場合は超過時間に応じて減点されます。受検者は講習会や練習の成果を発揮すべく合格目指して課題に取り組んでいました。これに対し、戸田副理事長を首席とする 20 人の検定委員（補佐を含む）は組み上がった鉄筋の配筋精度などを厳しく審査し採点していました。今年は 3 級に現役の高校生 3 人のほか、昨年 2 年生で 3 級に合格した生徒が今回は 3 年生として 2 級に挑戦しました。

試験会場には清水建設をはじめ大林組、竹中工務店、鹿島の担当者も見学を訪れ実技試験の様子を熱心に見入っていました。検定委員でもある岩田理事長は報道関係の取材に「昨年より受検者が増えているのは我々としても心強く、みんな頑張ってもらいたい。また長年、元請に見学していただき資格に対する元請の意識が変わってきたことも大きな成果」だと話していました。今回の実技試験の合格発表は 3 月 16 日となっています。

### 1 級技能試験の様子



### 3級を受験する高校生



### 検定員による採点状況

